

MOROZOFF View

第80期 報告書

平成21年2月1日～平成22年1月31日



証券コード:2217



すべてはお客様の笑顔のために

株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。当社第80期の業績をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社を取り巻く環境は、企業収益の悪化や雇用不安による個人消費の低迷が続くなど、厳しい状況で推移いたしました。また、お客様の「食の安心、安全」に対する関心の高さは変わらず、低価格志向が一段と高まるなど、限られたパイを巡っての企業間競争はさらに厳しさを増しております。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、「すべてはお客様の笑顔のために」を基本とし、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

生産・供給面におきましては、平成21年10月に竣工した西神新工場の本格稼働により神戸2工場（西神・六甲アイランド）体制を確立し、「チョコレートの生産技術向上」と「生産設備の汎用性の拡大と効率生産」を目指して効果創出を図ります。また、さらなる品質の安定向上、コストの低減、市場即応型供給体制を推進してまいります。

今後とも、さらなるステップアップを目指し、「中期経営計画の達成によるすべてのステークホルダーの満足度向上」を中期経営ビジョンとして掲げる中期経営計画『Next M』の実現に向け、全社一丸となり邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年4月



代表取締役社長
川喜多 佑一

Morozoff View

営業概況

イベント商品の強化、「チョコレートのモロゾフ」を訴求するチョコレート商品の開発・改善、半生菓子のラインアップの充実、フェアおよびキャンペーンの積極的展開などにより着実な売上獲得に努めてまいりましたが、個人消費の急激な落ち込みや百貨店の統廃合と店舗閉鎖の影響を受け、売上高は27,343百万円（前期比2.1%減）と平成17年1月期以来の減収となりました。

損益面におきましては、減収の影響に加え、原料費や一部材料費の高止まりによる売上原価率の上昇、神戸深江浜物流センター業務のアウトソーシングに伴う費用の発生、西神新工場建設に伴う戦略的費用支出の増加もあり、営業損失は118百万円（前期は519百万円の利益）、経常損失は79百万円（前期は569百万円の利益）となりました。当期純損失につきましては、固定資産の譲渡に伴う減損損失の計上もあり、458百万円（前期は18百万円の損失）となりました。



●菓子部門の概況

干菓子につきましては、2月のバレンタインデー商戦、3月のホワイトデー商戦の成功、値ごろ感のある商品の売上貢献などによりほぼ前年並みの売上を確保しました。また、洋生菓子につきましては、6回目を迎えたプリンキャンペーン、発売40周年記念のデンマーククリームチーズケーキキャンペーンなどの様々なキャンペーンを展開しましたが、個人消費の冷え込みが続き、天候不順や新型インフルエンザの影響もあり低調に推移しました。一方、半生菓子につきましては、昨秋にリニューアルを行い、売上は復調してきております。その結果、菓子売上高は25,604百万円（前期比2.0%減）となりました。



●喫茶・レストラン部門の概況

店舗の新規出店・改装、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、消費者の内食化傾向の影響や不採算店の退店に伴う売上減少もあり、喫茶・レストラン売上高は1,738百万円（前期比3.3%減）となりました。



TOPICS 1

中期経営計画『Next M』の目標数値修正について

2009年1月期を起点とする3か年中期経営計画『Next M』は、業績のV字回復を果たした前中期経営計画『プロジェクトM』をさらにステップアップさせるべく、【中期経営計画の達成によるすべてのステークホルダーの満足度向上】を中期経営ビジョンとして掲げ、継続した売上向上と利益の確保を目指しスタートいたしました。しかし2010年1月期に入り、「営業概況」で説明いたしましたとおり、売上が計画を下回り、営業利益も計画数値を確保することができませんでした。

『Next M』の着地年度である2011年1月期についても、引き続き厳しい市場環境が予測されます。さらに西神新工場の稼働開始による建物や機械・設備の減価償却費が大きく、下表のとおり売上高は27,300百万円に、営業利益率は0.3%に目標数値を修正するにいたりました。

今後は、開発から販売までのサプライチェーン全般の効率化に取り組むことにより、損益分岐点の低下を図り収益の改善を目指します。

	2010年1月期 実績	2011年1月期 前回開示目標	2011年1月期 修正目標
売上高(百万円)	27,343	28,400	27,300
営業利益率(%)	— (118百万円の損失)	1.2	0.3

TOPICS 2

西神新工場生産を開始しました

2009年4月1日に着工した西神新工場の建設工事は順調に進み、10月20日に無事竣工いたしました。新工場には、品質の向上と品種の拡大を目指した新技術や環境に配慮した省エネタイプの設備などを導入いたしました。

その後、機械設備の設置など本格稼働に向けた準備を進め、順次生産を開始しております。当社の主力工場としてチョコレート、焼菓子、ゼリーなどを生産してまいります。



TOPICS 3

「デンマーククリームチーズケーキ」
発売40周年記念キャンペーンを実施しました

2009年11月1日～30日、「デンマーククリームチーズケーキ」発売40周年を記念したキャンペーンを展開いたしました。

「愛され続けて40年。これまでも、これからも」というキャンペーンテーマのもと、デンマーク産クリームチーズを使った2種類の特別限定商品販売や、40周年記念のキャリアバッグを制作いたしました。さらにキャンペーン賞品として「ロイヤル コペンハーゲンでチーズケーキを愉しむ優雅な食器セット」と「オリジナル本革チーズケーキストラップ」をプレゼントいたしました。

これまでご愛顧いただいた感謝の気持ちを忘れずに、これからもお客様のご期待に応える、そんな魅力あふれる商品とサービスの提供に努めてまいります。

40thザ・デンマーク
クリームチーズケーキ

チーズケーキストラップ

40thデンマーク
クリームチーズスフレ
ダニッシュクラウン

TOPICS 4

子どもたちの「お菓子づくり教室」を開催しました

2009年11月1日、神戸市総合児童センターで「カスタードプリンをつくらう」をテーマに「お菓子づくり教室」を開催し、81名(小学生45名と保護者36名)の方々にご参加いただきました。

この催しは、CSR活動の一環である社会貢献事業として実施いたしました。

参加された子どもたちは一生懸命プリンづくりに挑戦され、お菓子づくりの楽しさを知っていただくことができました。



クリームチーズケーキ誕生40周年記念特集 モロゾフのチーズケーキHISTORY

モロゾフの「クリームチーズケーキ」が発売されたのは1969年。その後様々な改良を加えながらも、基本となる発売当初からのレシピと材料を大切に守り続け、2009年に発売40周年を迎えることができました。今回はそれを記念し、当社のロングセラー商品の誕生秘話をご紹介します。



葛野元社長(ドイツにて)

運命的な出会い

今から40年あまり前、まだベルリンの壁がドイツを東西に隔てていた頃。当時の社長葛野友太郎が、工場や見本市の視察のため東ドイツを訪れた時のことです。偶然に立ち寄った喫茶店で「ケーゼクーヘン(ドイツ語:チーズケーキ)」を口にしたことが、すべてのはじまりに。「こんなにおいしいものがあつたのか」と感動し、製品開発に取り組むことになったのです。

これからも愛される クリームチーズケーキを

そして1969年、モロゾフのクリームチーズケーキが発売されました。

当時は、モロゾフのどっしりとした食感のあるチー

ズケーキは大変珍しく、販売現場では「濃厚でずっしりしていて、おいしい」と評判になりました。その人気に支えられて、工場では生産効率の向上を続ける一方、味わいの面でもチーズを増量したり、レモンの風味を変更するなどの改良を続けています。また、季節やイベントに合わせた様々なデザインの商品も誕生し、店頭を彩っています。

これからも、皆様に愛されるクリームチーズケーキをお届けします。



マザーズデーデンマーク
クリームチーズケーキ

開発秘話 ロングセラーに至るまでには 多くの苦労がありました

◆クリームチーズケーキの底のビスケットは厚いと味が強すぎる反面、薄いと割れてしまうという問題がありました。バランスのよい厚みに決まるまで試行錯誤を重ねました。また発売当初はすべて手作業で仕上げていましたが、厚みを均一にしなければならず、高い技術が必要でした。



◆発売当初は現在のような高性能なオーブンではなく、使用する窯によって焼きあがり方が違っていたため、均一にするのは至難の業でした。職人たちは窯の違いによる焼きあがりの差が出ないように努力していたのです。

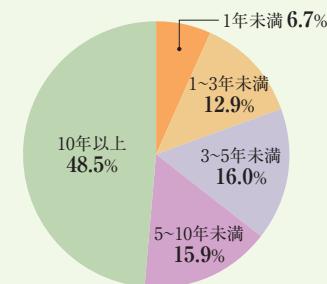
◆クリームチーズケーキのように水分の多いケーキは、少しでも焼きすぎると膨らんで表面にヒビ割れが生じることがあります。美しい表面の商品をお客様にお届けするために、当時の職人は窯につきっきりで作業をしていました。

株主アンケート集計結果

株主の皆様のご意見やご要望をお聞きするため、昨秋に引き続き株主アンケートを実施いたしました。大変多くの株主様にご協力をいただき、誠にありがとうございました。株主の皆様からの貴重なご意見やご要望を今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。アンケート集計結果の一部をご報告申し上げます。

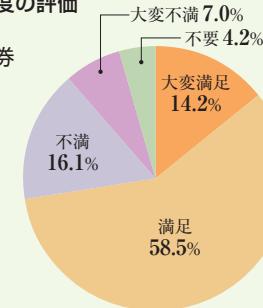
期間:2009年10月5日～11月10日 回答数:1,950名(返送率20.2%)

■当社株式の保有期間

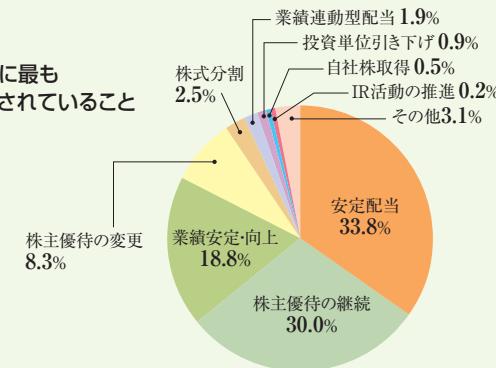


■株主優待制度の評価

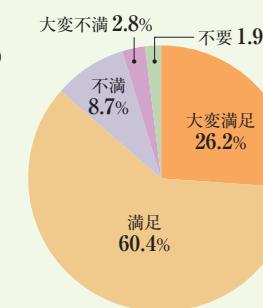
●株主優待券



■当社に最も期待されていること



●長期保有株主様への特別優待



集計結果を受けて

昨年同様、長期保有の株主様が多数を占める結果となりました。今後も、これらの貴重な意見をもとに、株主の皆様にご満足いただけるよう努力してまいります。引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成22年1月31日現在)	前期 (平成21年1月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		8,311,410	8,237,452
現金及び預金		528,074	382,318
売掛金		4,571,411	4,453,146
有価証券		100,049	330,242
棚卸資産		2,686,832	2,774,124
繰延税金資産		150,185	189,431
その他		292,856	125,887
貸倒引当金		△18,000	△17,700
固定資産		12,338,372	10,994,255
有形固定資産		9,918,664	8,119,026
無形固定資産		114,984	123,309
投資その他の資産		2,304,723	2,751,919
資産合計		20,649,782	19,231,708
(負債の部)			
流動負債		8,210,729	6,768,857
支払手形		2,515,424	1,936,246
買掛金		959,970	1,097,781
短期借入金		3,184,200	1,850,000
未払法人税等		114,473	347,000
その他		1,436,660	1,537,828
固定負債		1,629,006	976,031
長期借入金		955,800	—
繰延税金負債		22,155	211,322
再評価に係る繰延税金負債		531,710	645,628
退職給付引当金		52,223	52,144
その他		67,116	66,936
負債合計		9,839,735	7,744,888
(純資産の部)			
株主資本		10,788,349	11,325,168
資本金		3,737,467	3,737,467
資本剰余金		3,921,080	3,920,840
利益剰余金		3,218,835	3,752,015
自己株式		△89,034	△85,155
評価・換算差額等		21,697	161,650
その他有価証券評価差額金		43,502	40,486
土地再評価差額金		△21,804	121,164
純資産合計		10,810,047	11,486,819
負債・純資産合計		20,649,782	19,231,708

損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで)	前期 (平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで)
		金額	金額
① 売上高		27,343,267	27,930,786
売上原価		15,437,109	15,357,970
売上総利益		11,906,158	12,572,816
販売費及び一般管理費		12,024,447	12,052,844
営業利益又は営業損失(△)		△118,289	519,972
営業外収益		102,967	102,911
営業外費用		64,003	53,537
② 経常利益又は経常損失(△)		△79,324	569,346
特別利益		1,425	—
特別損失		542,114	531,521
税引前当期純利益又は純損失(△)		△620,013	37,824
法人税・住民税及び事業税		94,410	293,965
法人税等調整額		△256,380	△237,176
③ 当期純損失(△)		△458,043	△18,964

キャッシュ・フロー計算書

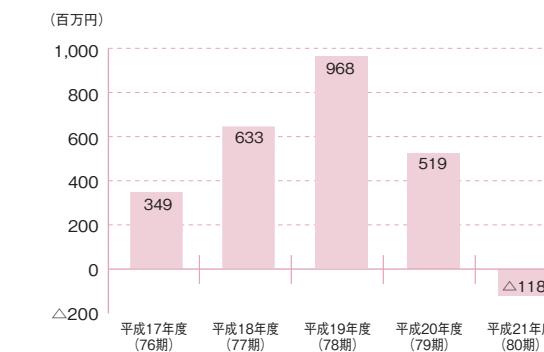
(単位:千円)

科目	期別	当期 (平成21年2月1日から 平成22年1月31日まで)	前期 (平成20年2月1日から 平成21年1月31日まで)
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		312,581	780,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,437,306	△999,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,070,208	△346,958
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		△54,516	△566,651
現金及び現金同等物の期首残高		682,641	1,249,292
現金及び現金同等物の 期末残高		628,124	682,641

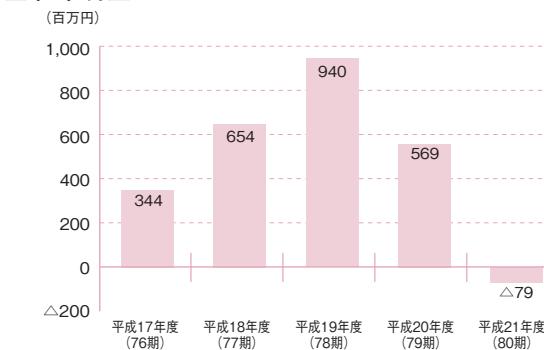
売上高



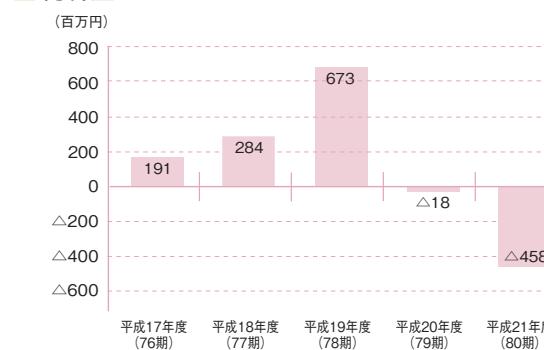
営業利益



経常利益



純利益



POINT

① 売上高

バレンタインデーやホワイトデーをはじめとするイベント商戦の成功、半生菓子のリニューアルによる売上復調はあったものの、個人消費の冷え込みが続くなか、百貨店の統廃合と店舗閉鎖の影響も大きく、売上高は27,343百万円(前期比2.1%減)となりました。

② 経常損失

減収の影響に加え、チョコレート商品に使用するカカオ類をはじめとした原料費と包装紙類などの一部材料費の高止まりによる売上原価率の上昇、神戸深江浜物流センター業務のアウトソーシングに伴う費用の発生、西神新工場建設に伴う戦略的費用支出の増加もあり、経常損失は79百万円(前期は569百万円の利益)となりました。

③ 当期純損失

神戸御影工場の土地、建物の譲渡に伴う減損損失を特別損失に計上したこともあり、当期純損失は458百万円(前期は18百万円の損失)となりました。

■ 会社概要 (平成22年1月31日現在)

商号	モロゾフ株式会社 Morozoff Limited
設立	昭和6年8月8日
従業員数	842名
上場証券取引所	大阪市場第1部・東京市場第1部
事業所	営業所 本社(神戸)御影オフィス併設・六甲アイランドオフィス(神戸)・ 関西支店(神戸)・東京支店・名古屋支店・福岡支店・ 北海道営業所(札幌)・仙台営業所 工場 神戸御影工場・西神工場(神戸)・ 六甲アイランド工場(神戸)・船橋工場・ 福岡工場・札幌工場・仙台工場 (注)神戸御影工場は平成22年1月31日をもって閉鎖いたしました。

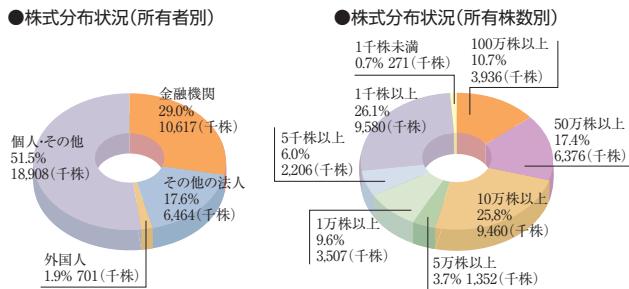
■ 役員 (平成22年4月23日現在)

代表取締役社長	川喜多 佑一
代表取締役専務(経営統括本部長)	尾崎 史朗
常務取締役(生産本部長)	齊藤 進
常務取締役(経営統括本部副本部長 兼経営企画グループ長兼経理グループ長)	山岡 祥記
常務取締役(営業本部長)	川窪 一明
取締役(営業本部副本部長兼東京支店長)	賀集 輝昭
取締役(マーケティングセンター長 兼商品企画グループ長)	山口 信二
常勤監査役	山本 茂伸
監査役	渡邊 一司
監査役	高橋 純子
監査役	西山 正一

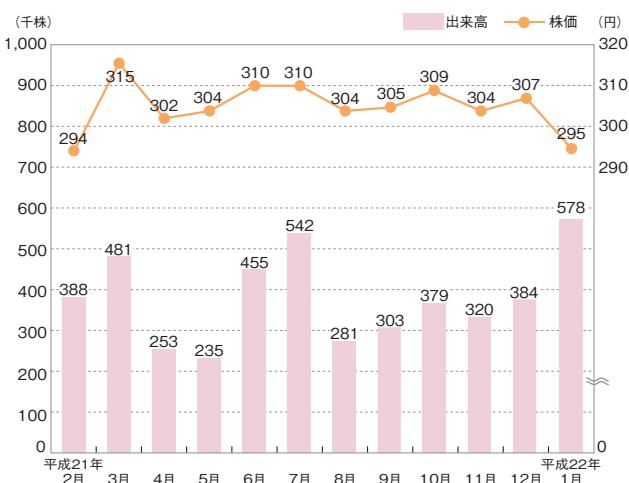
(注)監査役高橋純子および西山正一の両氏は、社外監査役であります。

■ 株式の状況 (平成22年1月31日現在)

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	36,692,267株
株主数	9,733名
うち単元株主数	7,633名



■ 株価・出来高



(注)株価・出来高は東京証券取引所によるものです。また、株価は月末終値を記載しております。

株主に対する特典

1,000株毎に1冊(10枚綴)の割合で
優待券を発行いたします。

- ◎優待券は、毎年1月31日および7月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主様に対して発行いたします。
- ◎優待券は、1月31日割当分は4月下旬に、7月31日割当分は10月上旬に発送いたします。
- ◎当社の指定店(平成22年4月1日現在59店舗)および通信販売にて優待券1枚につき税込1,050円(本体価格1,000円)までの現金でのお買上げ、ご飲食に対して20%を割引させていただきます。
※指定店等の詳細は、優待券または当社ホームページをご覧ください。

長期保有の株主様への特別優待

- ◎毎年7月31日現在で、1,000株以上を3年以上継続して保有の株主様に対して、年1回2,000円相当の自社商品をお送りいたします。
※自社商品は写真と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ◎自社商品は11月中旬に発送いたします。



単元未満株式の買増請求および買取請求について

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の株主様は、その単元未満株式について、1,000株になるまでの不足株式数を当社から購入(買増請求)することができます。また、単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式を当社に売却(買取請求)することもできます。お手続きにつきましては原則として口座を開設されている証券会社等で承ります。ただし、特別口座に記録された株式につきましては三菱UFJ信託銀行で承ります。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	定時株主総会・期末配当 1月31日 中間配当 7月31日
公告方法	電子公告 http://www.morozoff.co.jp/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎(通話料無料)0120-094-777

【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。お手続き用紙のご請求は、次の電話およびインターネットでも24時間承っております。
☎(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

モロゾフ株式会社

www.morozoff.co.jp



〒658-0033 神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地 ☎078-822-5000(代表)
(登記上の本社 神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号)